



# 九中だより

令和5年10月16日

## 第6号

立川市立立川第九中学校 校長 敦澤 雅規

TEL042-535-1415 Fax042-534-6958

教育目標 やさしく・かしこく・たくましく

## 感謝の気持ち

校長 敦澤 雅規

長引く暑い日差し…。東京都心では9月末にもかかわらず今年の真夏日が90回目に達するなど、記録づくめの年となりました。そんな中ですが、1年生は農園活動に汗を流し、土にまみれながら作物の成長を見守っています。2年生は9月5日からの3日間、市内の事業所を中心に職場体験に出かけ、汗を流し働くことの意義や喜びを学びました。3年生は9月15日からの3日間、奈良・京都方面に修学旅行に出かけました。歴史の教科書に出てくる史跡等の本物を間近にし、日本の伝統や文化を改めて知り考えることができました。それにしても京都は東京以上に暑く、汗だくの班行動でした。

1年生は日頃何気なく食べている物を作っている人に、2年生は働いている保護者に、3年生は伝統や文化を維持する人や楽しい3日間にできた仲間に対し、感謝の気持ちが持てたのではないかと思います。これらの経験をもとに、九中生はこれからも日頃の学校生活や行事等を体験させながら、感謝の気持ちを育成していきます。



## 【9月の朝礼より】

始業式から2週間が経ちました。月日が経つのは本当にあっという間に感じてしまいます。始業式の日「グッドルーザー」の話をしました。その言葉の意味は分かりましたか？グッドルーザーとは、「負けてもいさぎよい敗者」という意味です。ぜひ皆さんも、上手いかなかったことがあっても、下を向かず、胸を張って、これまで頑張ってきた自分を、仲間を誇りに思ってもらいたいと思います。

さて、先週2年生が職場体験に出かけました。働くことの大変さややりがいを感じたことと思います。私は時間を見つけて、幾つかの職場を回ってみました。そこで職場の方と話をしたのですが、「生徒さんはよく頑張っていますよ」「しっかりやってくれて本当に助かっています」「話しかけると反応してくれて嬉しいです」「いい生徒さんたちですね」などと、感謝の気持ちをたくさん言っていただきました。私は照れ臭くなるほど、ニヤけてしまいそうになるほど嬉しくなって、「ありがとうございます、自慢の生徒たちなんです」と答えました。

みなさんも仲間や家族、先生などから「感謝の気持ち」を伝えられたことがあると思います。その時を思い出してみてください。心地よい嬉しさが込み上げてきませんでしたか？ぜひみなさんも「ありがとう」という感謝の言葉を照れずに伝えてみてください。例えば消しゴムを拾ってもらったり、プリントを回してくれたり、給食を配膳してくれたり、クラスのために意見を言ってくれたり…。考えてみれば、人と関わる中で、ありがとうだらけです。でも「ありがとう」は伝わらなくては意味がありません。いつもよりちょっと声を張って、「ありがとう」と伝えてみてください。あなたの勇気を応援しています。

「ありがとうはすべての人を幸せにする魔法の言葉」です。顔を上げて話を聞いてくれて、「ありがとう」。